

臨床 4 部門の状況について

1. JANIS における参加医療機関の推移

事業開始から主に 200 床以上の医療機関をサーベイランス対象としてきたが、日本の 7 割を占める 200 床未満の院内感染対策の状況を把握するべく、2014 年に 200 床未満の医療機関の参加を可能とした。2014 年度の診療報酬の改定では、感染防止対策加算 1 の算定要件に検査部門への参加が必要となり、検査部門の参加医療機関数が飛躍的に増加した。全入院患者部門及び手術部位感染 (SSI) 部門では、参加医療機関数は増加しているが、集中治療室 (ICU) 部門及び新生児集中治療室 (NICU) 部門では横ばいの状態である。



2. 全入院患者部門

JANIS 全入院患者部門では、感染症発生動向調査（NESID）と同様に7つの薬剤耐性菌感染症の情報を収集している。

	感染症発生動向調査 (NESID)	JANIS・全入院患者部門
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA) 感染症	全数把握疾患	933施設 (2014年～200床未満の医療機関も参加)
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE) 感染症		
薬剤耐性アシネトバクター (MDRA) 感染症		
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE) 感染症		
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA) 感染症	5類定点把握疾患	
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP) 感染症		
薬剤耐性緑膿菌 (MDRP) 感染症		

3. 手術部位感染 (SSI) 部門

JANIS・SSI 部門では、2012年以降、日本環境感染学会 JHAIS 委員会が行っている SSI サーベイランスと同じ手術手技コードや SSI 判定基準を使用し、手術手技別の SSI の発生率等を公開している。

	JHAIS委員会 SSIサーベイランス部門	JANIS・SSI部門
施設数	約80施設	859施設
データ提出	年1回	年2回
報告対象	<ul style="list-style-type: none"> 手術手技別SSIの発生率 手術手技別リスクインデックス(※)別SSIの発生率 手術手技別SSIの原因菌等 	<ul style="list-style-type: none"> 手術手技別SSIの発生率 手術手技別リスクインデックス(※)別SSIの発生率 手術手技別SSIの原因菌

※リスクインデックス=ASA（米国麻酔学会）の身体状態分類+創分類+手術時間

4. 集中治療室（ICU）部門

JANIS・ICU部門は、ICUで発生する3種類の院内感染症のサーベイランスを実施している。日本環境感染学会 JHAIS 委員会では医療器具感染サーベイランスを行っており、クリティカルケア（ICU+HCU）だけでなく、急性期一般病棟のデータも解析、還元している。

	JHAIS委員会 医療器具関連感染サーベイランス 部門	JANIS・ICU部門
施設数	クリティカルケア：約70病棟 (※2)	ICU+HCU：191施設
データ提出	年2回	年2回
報告対象	<ul style="list-style-type: none"> 人工呼吸器関連肺炎(VAP) 人工呼吸器関連イベント(VAE) カテーテル関連血流感染症(LCBI, CSEP) 尿道留置カテーテル感染症(CAUTI) 	<ul style="list-style-type: none"> 人工呼吸器関連肺炎(VAP) カテーテル関連血流感染症(LCBI) 尿路感染症(UTI)

※2 施設は、クリティカルケアの他、急性期一般病棟についても調査を実施

5. NICU 部門

JANIS・NICU部門は、NICUで発生する院内感染症の発生率とその病原菌に関するデータを継続的に収集・解析している。日本環境感染学会 JHAIS 委員会でも、2015年からNICU部門の医療器具関連感染サーベイランスを開始したが、データの公開は現時点ではされていない。

	JHAIS委員会 医療器具関連感染サーベイ ランス・NICU部門	JANIS・NICU部門
施設数	—	118施設
データ提出	年4回	年1回
報告対象	<ul style="list-style-type: none"> 中心ライン関連血流感染 人工呼吸器関連肺炎 	<ul style="list-style-type: none"> 敗血症 肺炎 皮膚炎 髄膜炎 腸炎 その他